

# 県教研報告

10月16日(土)にリモート開催された、愛知県教育研究大会に、生活科部から2名の先生が正会員として参加されました。当日の様子をご報告いただきます。

リポート発表では、栽培活動を通して、事実と意見を表現する力を伸ばし、気付きを高める子供の育成についてまとめたリポートを発表しました。

討論の場では、文章表現が苦手な子を支援する手だてや、コロナ禍における他者との関わりの場の設定などについて話し合われました。タブレット端末を活用している学校が多く、参考になりました。しかし、泥に触ったことのない「どろだんご博士」が生まれてしまうような ICT 活用の仕方は懐疑すべきだ、とのご助言もいただきました。

助言の言葉から、今後も、児童が本気になって取り組み、思いを表現したくなるような、豊かな体験を生み出したいと、改めて感じました。

六名小学校 中西歩澄

総括討論では、生活科の授業における「他者との関わり」「振り返りの仕方」「発達段階に合わせた支援」が話題となりました。特に他者との関わりにおいては、このコロナ禍での関わり合いの在り方について、熱心に話し合われました。

助言者からは、タブレットに頼りすぎず、直接関わる中にこそ、価値ある学びがあるとご助言をいただきました。

さらに、絵本「たまごにいちゃん」の主人公の成長過程が、生活科の学習過程に似ていることも教えていただきました。子供たちの成長過程を大切に、価値ある学びを目指して授業づくりを進めていきたいと改めて思いました。

根石小学校 大久保日向子



## ～きれいと輝く 素敵な一瞬～



春に植えた野菜の収穫。土を一生懸命掘りながら、「見て見て、大きいよ」「たくさんできているよ」と笑顔で収穫する子供の姿がありました。大きく育った野菜の姿に喜びを感じている様子でした。



(岩津小学校 森遥香先生)

生活科の町探検では、学校近くの古墳がある大塚公園に行きました。子供たちは、「山がある」と言いながら古墳に近づいていきました。社会科の先生に古墳の話をしてもらおうと、「古墳なんだ」と言いながら、目を輝かせて、周りの様子をよく見たり、一周したりしながら、楽しんでいました。(矢作西小学校 高須伶衣子先生)



春から育ててきたナスやトマトとお別れをし、次は大根の種まきをしました。小さな芽をじっと見つめて、「葉っぱがツルツルだよ!」「はやく食べたいな」と声をあげていました。大きくなるのが楽しみです。



(六ツ美南部小学校 後藤元輔先生)

「うんとこしょ。どっこいしょ」みんなで声と力を合わせて、自分の顔よりも大きなサツマイモを収穫しました。サツマイモのほかにも、ドングリや柿、ススキなど、秋に見られるものを、きらきらとした目で楽しそうに探す姿が見られました。



(六ツ美西部小学校 鈴木沙也加先生)

「町たんけん」で見学したお店では、写真を撮らせていただいたり、たくさん質問に答えていただいたりしました。サービスでいただいた出来たてのコロッケを、どの子も完食し、楽しんで見学することができました。



(形埜小学校 青木孝先生)

### <研修報告>

7月28日(水)総合学習センター多目的ホールにて、授業力・教師力アップセミナー基礎編が行われました。前半は、三島小・勝本ゆき子先生と六名小学校・中西歩澄先生に授業実践報告をしていただきました。後半は、愛知教育大学教授 加納誠司先生からご講話をいただきました。

参加された先生から、「お二人の先生の実践内容を、今後の実践に取り入れたい」「2学期へのエネルギーがみなぎる講話だった」などの感想をいただきました。